

## 【社会福祉学科の2013年度一般入試に向けて】

社会福祉学科では、2012年度から一般入試において一般試験科目のみによるA方式、小論文および面接によるB方式を新たな仕組みとして導入しました。

特に、B方式では、これからの人口減少社会で世界で活躍できる人材を育てるという観点から、従来の特別入試に加えて一般入試においても、学力試験では測れない様々な経験や思考能力、実践力を問う新たな制度を導入しました。

これは大学卒業後、家庭や社会、企業において多様な経験知を持つ方々がこれからの人口構成上中心となることから、わが国の貴重な福祉人材として、自分たちの新しい福祉の構築のため活躍していただきたいとの願いから設けられたものです。

### 一般入学試験 社会福祉学科(B方式)

◆募集人員:8名

◆第1次試験科目:小論文(概ね60%)、面接(概ね40%)および書類審査の結果を総合して判定※

◆試験時間:90分

※出願時に志望理由書(本学所定用紙)の提出が必要です

## From Sophian

2012年度の一般入試B方式で入学した松下さんは、学校卒業後10年間にわたって東京都内のNPO法人の運営する居宅介護事業所のホームヘルパーとして仕事をしてきました。

松下さんはホームヘルパーとして高齢者や障害者の支援を行う中で、介護時間や介護内容に関してそれぞれの利用者のニーズにあった適切な支援やそれを可能にするシステムについて深く学びたい気持ちを抱きました。そのようなことがきっかけとなって上智大学総合人間科学部社会福祉学科で学ぶ決意をしました。

実際に社会福祉学科に入学して、社会福祉に関する科目だけではなく、多様な全学共通科目を学ぶこと、特に哲学を学ぶことにより、人間に関する理解がより進んだそうです。

今後はさらに現場で感じた疑問の社会的背景の理解や利用者がより使いやすいシステムをつくるための知識や技術を積極的に学んでいきたいと話されています。

このように上智大学の社会福祉学科は他の福祉系大学にはない、知識を広げ深める科目を配置し、それぞれの学生の関心に応じて学ぶことのできる仕組みを導入しています。これらは従来の狭い社会福祉という学問と社会福祉教育を超えて、新しい社会福祉を構築するとともに、そのような社会福祉の人材を輩出することを目指しているからです。

この新たな入試制度により2012年度に新入生となった学生も大学に慣れ、本格的に知の追究をはじめたところです。みなさまもぜひ上智大学総合人間科学部社会福祉学科で新しい社会福祉を学んでみませんか。

